

第1次バックアップは・・・SVMによるデータの瞬間保存

堀尾先生からのコメント

SVMのオプションのひとつに、OSやファイルシステムに依存しない新型のスナップショット機能、Multi-Viewがあります。このMulti-Viewのスナップショット機能を用いて、使用しているデータのイメージを、わずか数秒でディスク内に取得します。

たったの数秒で、すべての設計データを保存することができます。ブロック単位での保存となりますので、データの整合性は100%です。データが適切に保存されたのかどうか判別に頭を悩ませていた過去とはサヨナラ。安心して研究に没頭する日々を送ることができるようになりました。

「SVMは、魔法の箱ですね。アーキテクチャが、独創的で興味深いです。」と、語るのは堀尾先生。「導入したSVMは、従来のストレージとは比較できない、次元の違う革新的なストレージです。ストレージに関する専門的な知識がなくとも簡単に扱うことができます。私の研究室では、学生がSVMを使って手軽にバックアップをとっており、データの整理も日常的に行なっております。その為、必要とするデータを学生が各自で取り出すことができ、研究がはかどります。」

第2次バックアップは、後でゆっくりとテープへ保存

日々の研究は、データの損失を考えることがなくなって、ひと安心。

サーバが壊れた時も、SAN環境を構築しているので、代替サーバを接続すれば、今まで通りの研究を再開できます。導入前は、壊れたら内臓のディスクを新しいものに交換し、バックアップしていたテープ装置からデータを戻す作業を行っていました。しかし、この方法だと昔のテープを読めなくなってしまうことも稀にあり、再度データの打ち込みをやり直さなければならない最悪のパターンも経験しました。今は、もうそんな悪夢とも無縁の日々です。

導入構成図



コンピュータ ダイナミクス株式会社

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-23

TEL : 03-3366-9741 FAX : 03-3366-9800/9494

E-MAIL : compd@computerdyna.co.jp ホームページ : <http://www.computerdyna.com> おかげさまで24年

